

令和8年 中標津町議会3月定例会 一般質問要旨

通告	質問議員	質問事項・質問要旨	答弁を 求める者
1	11番 江口 智子 <small>えぐち ともこ</small>	<p><b>1 すい臓がん早期発見の取り組みを</b></p> <p>北海道のがん死亡率は全国ワースト3位で、肺がん、乳がんと並びすい臓がんは全国1位となっている。とりわけ、すい臓がんは見つかった時には手術不能であることが多く、5年生存率も10%と最も低い。北海道は2029年までにがん死亡率を全国平均以下とする目標を立てているが、これに対する当町の見解は？</p>	町長
2	12番 高橋 善貞 <small>たかはし よしさだ</small>	<p><b>1 水道水源確保に必要な山岳林の自然環境を維持するために</b></p> <p><b>1) 将来的な水道水源確保のため山岳林を国立公園化すべき</b></p> <p>中標津町の水道水源は武佐岳から標津岳に至る山岳林に守られているが、この国有林を将来的に守っていくために「阿寒摩周国立公園」又は「知床国立公園」の一部にこの山岳林を編入し、森林開発を制限して持続可能な水資源を確保すべきでは？</p> <p><b>2) 水源地を守るために林業の振興は重要な課題</b></p> <p>森林を水源として守るには、天然林の自然更新、人工林の計画的な「伐採」「植林」「施業」が必要である。令和4年度から令和13年度を計画期間とする「中標津町森林整備計画」は令和8年度に中間年を迎えが、水道水源を守るために必要な施策を盛り込むべきでは？</p> <p><b>3) 令和4年「森林の整備と保全にかかる協定」の再協定が必要</b></p> <p>「森林の整備と保全にかかる協定」が根釧東部森林管理署・別海町・中標津町・標津町の4者で締結されているが、協定期間は令和4年4月1日から令和9年3月31日の5年間で来年度終了する。令和8年度中に水道水源の重要性と林業の振興の両面から役割分担など協議し再度更新すべきでは？</p>	町長
3	15番 松村 康弘 <small>まつむら やすひろ</small>	<p><b>1 中標津空港周辺戦争遺産の保全と公開を</b></p> <p>昨年11月、中標津しるべつなぎ会と教育委員会共催で中標津空港周辺の「なかしべつ戦跡めぐり」に参加した。「海軍標津第一航空基地」として建設され、その一部のコンクリート製格納庫の基礎や土製の掩体壕が残されていた。戦争遺産の評価と後世へ継承できる施設運用の考えは？</p> <p><b>2 広陵中学校断熱改修結果の分析と広報を</b></p> <p>昨年100mmのフォームポリスチレンの外張り工法で改修された広陵中学校の一冬目が終わろうとしているが、断熱効果の強化ができるようになっている。地球温暖化防止に向けた対応としてこの結果を積極的に広報すべきでは？</p>	町長 教育長

令和8年 中標津町議会3月定例会 一般質問要旨

通告	質問議員	質問事項・質問要旨	答弁を 求める者
4	5番 <small>ひらやま ひろみ</small> 平山 光生	1 保護者が将来設計できる学校配置の見通しを	
		1) 将来人口を踏まえた児童生徒数の見通しについて	
		<p>将来の人口推計では子どもの数が大きく減るとされているが、各学校の児童生徒数は今後どのように推移すると見込んでいるのか？</p>	教育長
		2) 今後の学校配置の基本的な考え方について	
		<p>長寿命化の時期を迎える学校がある中で、市街地の小学校再編の可能性も踏まえ、町としてどのような考え方で学校配置を進めていくのか、基本方針を示すべきでは？</p>	教育長
		3) 学校配置の将来像の公表時期と方法について	
		<p>住宅建設や転居を考える保護者のためにも、少なくとも5～10年程度の学校配置の見通しを早期に示す必要があると考えるが、将来像の公表時期は？</p>	教育長
		2 全国大会出場団体への練習環境支援を	
		1) 本町の文化芸術活動の評価について	
		<p>小中高の各年代で全国大会出場を果たし、世代を超えた合唱の輪が交流人口の活性化にもつながっている本町の文化芸術活動を、教育委員会としてどのように評価しているのか？</p>	教育長
2) 全国大会出場団体へ施設利用補助制度の創設について			
<p>全国大会に向けた仕上げの練習には、しるべっとの大ホール使用が不可欠で、保護者負担が大きい現状がある中、財政影響の少ない範囲で施設利用料を減免する制度を創設し、子どもたちの挑戦を支えるべきでは？</p>	教育長		
5	2番 <small>あべ さき</small> 阿部 沙希	1 子どもの発達支援に関する「福祉のしおり」の整備を	
		<p>子どもの発達・発育に不安を持つ保護者に、当町ではどのような支援や制度があり、どのように選べば良いのかを模索される方々が孤立せず、必要な時に必要な情報を選べる仕組みとして「福祉のしおり」等の形で情報の整備・提供する考えは？</p>	町長
		2 小学校のスケート学習の位置づけは	
<p>毎年、家計を苦しめる問題としてスケート靴のレンタル代が話題になる。保護者の多くが年間授業回数が2～3回しかない現状で、「来年はどうなるの？」との嘆きが聞こえる。 子どもたちの未来にスケート学習が必要なのか、またスケート学習の位置づけは？</p>	教育長		

令和8年 中標津町議会3月定例会 一般質問要旨

通告	質問議員	質問事項・質問要旨	答弁を 求める者
6	3番 <small>くりす</small> 栗栖 <small>ようすけ</small> 陽介	<b>1 専門職の処遇改善と人材定着の方向性について</b>	
		<b>1) 専門職員の職務評価と処遇改善を</b>	
		<p>専門職研修は「個人の努力」ではなく、行政機能維持、町民サービスの質保障の一部である認識が必要である。専門資格を有する職員の専門性や市場における希少性、人材流動性の状況をどのように認識しているか？また、現在の給与体系の中で、専門職の職務内容や責任の重さが適切に評価されていると考えているか？</p>	町長
		<b>2) 資格手当の創設等を含む人材定着政策と予算への反映を</b>	
		<p>現場から専門資格に対する評価、資格手当の創設や見直しを求める声がある。人材定着の観点から検討を行う必要があると考える。専門職の人材確保対策は、特別交付税措置の対象となり得る可能性、一定の財源活用の余地も考えられるが、制度活用の可能性を含め、専門職の処遇改善が必要と思うが町長の見解は？</p>	町長